



Espacenet

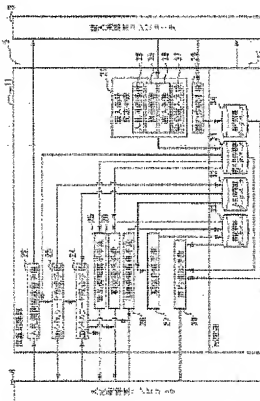
Bibliographic data: JP 2003271848 (A)

DISCLOSURE ESTIMATION DEVICE, SYSTEM THEREFOR, METHOD THEREFOR, PROGRAM AND RECORDING MEDIUM WITH THE PROGRAM RECORDED THEREON

Publication date: 2003-09-26
 Inventor(s): YAMADA SHIGEO; HIRATA HITOSHI; KATONO AKIRA ±
 Applicant(s): IDEMITSU PETROCHEMICAL CO ±
 Classification: - international: G06Q10/00; G06Q30/00; (IPC1-7): G06F17/60
 - European:
 Application number: JP2002076310 20020319
 Priority number(s): JP2002076310 20020319

Abstract of JP 2003271848 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a disclosure estimation system which can further decrease successful bidding estimated amount ;
 SOLUTION: The estimated amount bidding side which inputs bidding side information, acquires an ID number and a password, and acquires a bidding qualification, bids the estimated amount on a disclosure estimation window using an Web browser. A server device 5 which acquires the estimated amount sets order. When the estimated amount that the estimated amount bidding side bid is a higher estimated amount than the order corresponding to the number of purchase point based on the number of purchase point and the number of safe purchase point that a purchase side sets beforehand, a message which urges the re-bidding of the less estimated amount is reported to the estimated amount bidding side. When the estimated amount is cheaper than the order corresponding to the number of purchase point and is higher than the order corresponding to the number of safe purchase point, a message that the purchase point may exclude the object is notified to the estimated amount bidding side. The estimated amount bidding side can not know the lowest price, so the estimated amount can be reduced ;
 COPYRIGHT: (C)2003, JPO



Last updated:
 04.04.2011 Worldwide
 Database 8.7.20, 92p

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 購入物品を公表し前記購入物品に対する見検額に関する見検情報に基づいて購入先を設定するための公開見検装置であって、

前記購入物品に関する物品情報群を提示する物品情報提示手段と、

前記見検額を提示する見検額入力欄から入力される前記見検情報と取得する見検情報取得手段と、

この見検情報取得手段にて取得した見検情報の見検額を比較し見検額が小さい順番となる前記見検額入力欄の順位に關する順位情報を作成する順位作成手段と、見検額が最も小さい順番から前記見検額入力欄を優先入先として設定するための購入先の数を設定する購入先数決定手段と、

この購入先数決定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見検額より高い見検額の順番となる前記見検額入力欄に対して、見検額の高い見検情報の再入力力を促す案内を通知する案内通知手段と、

を具備したことを特徴とした公開見検装置。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の公開見検装置において、

購入先数決定手段により設定される購入先の数より少ない数を設定する安全購入先数決定手段を具備し、

案内通知手段は、購入先数決定手段にて設定される購入先の数に対応する順番より低く、かつ前記安全購入先数決定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見検額より高い見検額の順番となる見検額入力欄に対して、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内を通知することを特徴とした公開見検装置。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載の公開見検装置において、

順位作成手段により作成した順位情報を提示する順位提示手段を具備したことを特徴とした公開見検装置。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の公開見検装置において、

順位提示手段は、見検額入力欄の自己の順位のみを提示することを特徴とした公開見検装置。

【請求項 5】 請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の公開見検装置において、

見検額入力欄の購買物品の提供能力に関する情報を取得する入力情報取得手段を具備し、

見検情報取得手段は、前記入力情報に基づいて取得した前記購買物品の提供能力に関する情報の入力がある見検額入力欄から入力される見検情報のみを取得することを特徴とした公開見検装置。

【請求項 6】 請求項 1 に記載の公開見検装置において、

見検情報取得手段が見検情報取得手段と見検額入力欄を設定する入力可能条件決定手段を具備し、

物品情報提示手段は、前記入力可能条件決定手段にて設

定される見検額入力欄に対してのみ物品情報を提示することを特徴とした公開見検装置。

【請求項 7】 請求項 1 ないし 6 に記載の公開見検装置と、

この公開見検装置にネットワークを介して連動可能に接続される端末装置と、

を具備したことを特徴とした公開見検システム。

【請求項 8】 コンピュータを用いて購入物品を公表し前記購入物品に対する見検額に関する見検情報に基づいて購入先を設定する公開見検方法であって、

前記購入物品に関する物品情報群を提示する、この提示される物品情報群に基づいて見検額を提示する見検額入力欄から入力される見検情報と取得し、

この取得した見検情報の見検額を比較して見検額が小さい順番となる前記見検額入力欄の順位に關する順位情報を作成し、見検額が最も小さい順番から前記見検額入力欄を優先入先として設定するための購入先の数に対応する順番の見検額より高い見検額の順番となる前記見検額入力欄に対して、見検額の高い見検情報の再入力力を促す案内を通知することを特徴とする公開見検方法。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の公開見検方法をコンピュータに実行させることを特徴とした公開見検プログラム。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の公開見検プログラムをコンピュータに稼働可能に記録することを特徴とした公開見検プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の要する技術分野】 本発明は、購入物品を公表し購入物品に対する見検額に関する見検情報に基づいて購入先を設定するための公開見検装置、そのシステム、その方法、そのプログラムおよびそのプログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【背景技術】 従来、上記公開見検をする場合作して、例えば特開 2001-250017 号公報に記載の構成が知られている。

【0003】

【0003】 この特開 2001-250017 号公報に記載のものは、複数の見検額入力欄からネットワークを介して見検額に関する見検情報を発信し、受信した見検情報に基づいて見検額を評価して見検額入力欄間で入札順位が変動すると、ネットワークを介して見検額入力欄に入札順位が変動したことを通知する。また、見検額入力欄に入札順位を通知し、所定の回数内であれば、見検額入力欄からの見検情報の再取得を許可する構成が知られている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記特開 2001-250017 号公報に記載の従来の構成で

は、見誤り入札値は最も小さい見誤額を認識できるの
で、席1まである座席の範囲が合ったとしても、初め
に指示された最も安い見誤額が基準となり、見誤額の再
入力が初めに指示された見誤額からあまり変動しないお
それがある。このため、客席にはさらに安い価格で再入
札可能であっても、最終的に得られる席のさらなる拡張が望
めないおそれがある。

【0005】本発明では、このような点に鑑みて、得ら
ざる見誤額のみを必要とされる公開見誤額値、そのシ
ステム、その方法、そのプログラムおよびそのプログラ
ムを記憶した記憶媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【図面を解説するための手段】請求項1に記載の発明
は、購入物品を必要とされる前記購入物品に対する見誤額に
関する見誤情報に基づいて購入先を決定するための公開見
誤額値を提示する手段と、前記見誤額を提示する見誤額
値取得手段と、前記購入物品に関する物品価格を提示
する物品価格開示手段と、前記見誤額を提示する見誤額
値取得手段から入力される前記見誤額値を取得する見誤額
値取得手段と、この見誤額値取得手段にて取得した見誤額
値の見誤額値と比較し見誤額が小さい席となる前記見誤
額入札側の席位に関する席位情報を作成する席位作成手
段と、見誤額が最も小さい席から前記見誤額入札側を
購入先として決定するための購入先の数決定する購入
先数決定手段と、この購入先数決定手段にて決定される
購入先の数に対応する席数の見誤額より高い見誤額の席
数となる前記見誤額入札側に対して、見誤額の小さい見
誤額値の再入力を促す案内を通知する案内通知手段と、
を見誤したことを特徴とした公開見誤額値である。

【0007】この発明では、物品価格開示手段にて購入
物品に関する物品価格を提示し、見誤額取得手段にて
見誤額を提示する見誤額入札側から入力される見誤額に
関する見誤情報を取得し、席位作成手段にて取得した見
誤額値の見誤額値と比較して見誤額が小さい席となる見
誤額入札側の席位に関する席位情報を作成する。そし
て、購入先数決定手段にて見誤額が最も小さい席から
見誤額入札側を購入先として決定するための購入先の数
に対応する席数の見誤額より高い見誤額の席数となる見
誤額入札側に対して、案内通知手段により見誤額の小さ
い見誤額値の再入力を促す案内を通知する。このことよ
り、見誤額入札側は、最も安い見誤額を切り得ること
なく、席にさらに小さい見誤額値の見誤額値の再入力を促
す案内のみで、どの程度小さい見誤額に決定すればよい
が判断できないので、見誤額入札側としては可能限り
安い見誤額の見誤額値を再入力をすることとなり、最終的
な席1時の見誤額値の拡張が図れる。

【0008】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載
の公開見誤額値において、購入先数決定手段により決定
される購入先の数より少ない数に決定する安全購入先数
決定手段を具備し、案内通知手段は、購入先数決定手段
にて決定される購入先の数に対応する席数より低く、少

く前記安全購入先数決定手段にて決定される購入先の数
に対応する席数の見誤額より高い見誤額の席数となる見
誤額入札側に対して、購入先の対象外となるおそれがあ
る旨の案内を通知することを特徴とする。

【0009】この発明では、案内通知手段により、購入
先数決定手段にて決定される購入先の数に対応する席数の
見誤額より小さく、かつ、購入先数決定手段にて決定
される購入先の数より少ない数に決定する安全購入先数
決定手段にて決定される購入先の数に対応する席数の見
誤額より高い見誤額の席数となる見誤額入札側に対し
て、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内を通知
する。このことにより、購入先の数に対応する席数の見
誤額より小さく、購入先の対象外となり得る見誤額入札
側でも、通知により今後の入札活動に応じて購入先の対
象外となるおそれがあることが認識され、入札される見
誤額値のさらなる低減が図れる。

【0010】請求項3に記載の発明は、請求項1または2
に記載の公開見誤額値において、席位作成手段により
作成した席位情報を提示する席位開示手段を具備したこ
とを特徴とする。

【0011】この発明では、席位開示手段により、席位
作成手段にて作成した席位情報を開示する。このことよ
り、見誤額入札側は自己の見誤額の席位が認識可能と
なり、特に購入先の数の境界近傍の席位見誤額入札側
からさらに見誤額が低い見誤額値の再入力の活性化が期
待でき、より見誤額の拡張が望める。

【0012】請求項4に記載の発明は、請求項3に記載
の公開見誤額値において、席位開示手段は、見誤額入札
側の自己の席位のみ開示することを特徴とする。

【0013】この発明では、席位開示手段は、見誤額入
札側自身の自己の席位のみの開示する。このことにより、
他の見誤額入札側が不明で、開示される入札状況の情報
が少ないので、再入力される見誤額値の見誤額として、
見誤額入札側が可能な限り安い見誤額値を提示する傾向が
強まり、より見誤額の拡張が望める。

【0014】請求項5に記載の発明は、請求項1ないし4
のいずれかに記載の公開見誤額値において、見誤額入
札側の購買物品の提供能力に関する情報を取得する入札
側情報取得手段を具備し、見誤額取得手段は、前記入
札側情報取得手段にて取得した前記購買物品の提供能力
に関する情報の入力がある見誤額入札側から入力される
見誤額値のみを取得することを特徴とする。

【0015】この発明では、見誤額取得手段により、
入札側情報取得手段にて取得した見誤額入札側の購買物
品の提供能力に関する情報の入力がある見誤額入札側
から入力される見誤額値のみを取得する。このことによ
り、例えば見誤額が低くても購買物品の提供能力がない
購入先から購入物品を購入することにより購入物品の確
保ができなくなるなどの不都合を防止し、安定した品
質の購入物品が安定して確保可能となる。

【0016】請求項1に記載の発明は、請求項1に記載の公開見状装置において、見状情報取得手段が見状情報を取得可能とする見状購入札を決定する入札可能条件決定手段を具備し、物品を販売する見状は、前記入札可能条件決定手段にて決定される見状購入札に対してのみ物品情報を提示することと特徴とする。

【0017】この発明では、入札可能条件決定手段にて決定される見状購入札に対してのみ物品情報提示手段にて物品情報を提示する。このことにより、例えば入札情報取得手段にて取得した見状購入札の提示物品の提供能力に関する情報に基づいて、良好な購入物品を決定して客席に確保するための購入先の対象となり得る見状購入札のみが決定可能となり、決定した取引が容易に得られる。

【0018】請求項7に記載の発明は、請求項1ないし6に記載の公開見状装置と、この公開見状装置にネットワークを介して送受信可能に接続される端末装置と、を具備したことを特徴とした公開見状システムである。

【0019】この発明では、最終的な落札時の見状部の客席が回れる請求項1ないし6に記載の公開見状装置に、ネットワークを介して送受信可能に端末装置を接続する。このことにより、ネットワークの利用により、より高い見状情報の取得が容易で、利便性が向上し、利用の拡大が容易に図れる。

【0020】請求項8に記載の発明は、請求項1に記載の公開見状装置を、公開見状方法に展開したもので、前記購入物品に関する物品情報を提示させ、この提示される物品情報に基づいて見状額を提示する見状購入札の購入力を入力する見状情報取得手段、この取得した見状情報の見状額と比較して見状額が小さい順番となる前記見状購入札の順位に基く順位情報を作成し、見状額が最も小さい順番から前記見状購入札を購入先として決定するための購入先の数に対応する順番の見状額より高い見状額の順番となる前記見状購入札に対して、見状額の小さい見状情報の購入力を促進する案内を通知することと特徴とする。このことにより、請求項1に記載の発明と同様の作用効果を享受できる。

【0021】請求項9に記載の発明は、請求項8に記載の公開見状方法をコンピュータに実行させることを特徴とする公開見状プログラムである。

【0022】請求項10に記載の発明は、請求項9に記載の公開見状プログラムがコンピュータにて該取扱い可能に記憶されたことを特徴とした公開見状プログラムを記録した記録媒体である。

【0023】この発明では、請求項8に記載の公開見状方法を実行させるための請求項9に記載の公開見状プログラムを記録媒体に記憶させることで、公開見状プログラムの取扱いが容易で、本発明の利用促進を促進に図ることができ。

【0024】なお、請求項10に記載の発明、請求項9に

記載の発明および請求項10に記載の発明において、コンピュータは、1つに限らず、例えば複数のコンピュータをネットワーク状に組合わせた種別や、マイクロコンピュータなどの集まり、あるいは複数の電子部品が搭載された回路基板などとも含む。

【0025】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図面に基いて説明する。

【0026】（公開見状システムの全体構成）図1は、本実施の形態における本発明の公開見状システムに係る公開見状システムの概略構成を示すブロック図である。図2は、公開見状システムのサーバ装置の概略構成を示すブロック図である。

【0027】図1において、1は公開見状装置としての公開見状システムで、この公開見状システム1は、例えば材料や部品などの受付けである購入物品を購入するための、見状額の入札を電子取引上で広く取得するためのシステムである。そして、この公開見状システム1は、ネットワーク2と、購入物品を購入する購入側端末コンピュータ3と、見状額を入力する販売側としての入札側端末コンピュータ4と、公開見状装置としてのサーバ装置5と、を備えている。

【0028】ネットワーク2は、例えばTCP/IP (Transmission Control Protocol / Internet Protocol) などの汎用のプロトコルに基づいたインターネットやイントラネットなどとして構成される。このネットワーク2は、購入側端末コンピュータ3と、入札側端末コンピュータ4と、サーバ装置5とが接続されている。

【0029】購入側端末コンピュータ3は、例えば購入物品に関する物品情報を提示して購入物品を購入する購入側に設置された汎用のコンピュータで、購入側コンピュータ本体3a、図示しない購入入力装置、購入表示装置3bなどを備えている。

【0030】入札側端末コンピュータ4は、例えば見状額を入力する見状購入札測定に設置された汎用のコンピュータで、入札側コンピュータ本体4a、図示しない入札側入力装置、入札側表示装置4bなどを備えている。なお、携帯電話あるいはPHS (Personal Handyphone System) などの携帯端末などでもよい。

【0031】そして、これら購入側端末コンピュータ3および入札側端末コンピュータ4は、ネットワーク2であるインターネット上でホームページなどを閲覧するためのブラウザソフトや電子メールソフトなどがインストールされ、ネットワーク2を介して通信情報を送受信可能となっている。

【0032】サーバ装置は、例えばネットワーク2と接続されるWWW (World Wide Web) サーバとして構成される。そして、サーバ装置5は、システム本体5aと、このシステム本体5aとに接続されるキーボードやマウスなどの図示しないシステム入力部と、ディスプレ

イなどのシステム系設備とを備え、ネットワークを介して購入側端末コンピュータおよび入札側端末コンピュータ4に接続し、各種情報を送受信可能となっている。

【0039】サーバ装置5のシステム本体部5aは、図2に示すように、様々なプログラムを実行する演算処理部11と、送受される情報を記憶するハードディスクや磁気ディスク、光ディスクなどの記憶装置としての記憶部12と、を備えている。

【0040】システム本体部5aの演算処理部11は、図2に示すように、演算処理部11を含むサーバ装置5全体の動作制御を行うOS(Operating System)上に展開されるプログラムとしての、購入条件設定手段21と、入札情報取得手段22と、ID/パスワード作成手段23と、ID/パスワード照合手段24と、物品情報提示手段25と、見込情報取得手段26と、順位作成手段27と、順位提示手段28と、密着作成手段29と、密着通知手段30と、を備えている。

【0041】システム本体部5aの記憶部12は、購入条件情報データベース31と、入札情報データベース32と、順位情報データベース33と、密着情報データベース34と、を備えている。なお、記憶部12は、図示しないが、これらデータベース31〜34の他に、上記演算処理部11の各手段21〜30および5aを含むプログラムを記憶する領域なども備えている。

【0042】購入条件設定手段21は、購入側端末コンピュータ6の購入側入力装置の入力操作により、購入物品を購入する購入条件に関する購入条件情報を設定する。そして、この購入条件設定手段21は、図2に示すように、物品情報設定手段35と、購入先設定手段36と、安全購入先決定手段37と、入札可能条件設定手段38と、を備えている。

【0043】物品情報設定手段35は、購入側端末コンピュータ6の購入側入力装置の入力操作により、購入物品に関する物品情報を設定する。すなわち、物品情報設定手段35は、購入側表示装置9bに表示されるウェブブラウザ(Web browser)による表示画面で示される物品情報を入力するための物品情報入力ウィンドにおいて、このウィンドの入力を促す表示に基づいて入力操作された内容をネットワーク2を介して送受信される物品情報として取得することにより設定する。この物品情報としては、例えば物品の名称、化学物質の場合には化学名や物質名と俗名等間で一般的に呼ばれる代表的な名称(商品名)、品質や形状、規格などの性状、納入先、荷役、数量などである。そして、設定入力された物品情報は、購入条件情報として記憶部12の購入条件情報データベース31に記憶されて格納される。

【0044】購入先決定手段36は、購入側端末コンピュータ6の購入側入力装置の入力操作により、購入する購入先の数を設定する。この購入先の数についても、

ウェブブラウザによる表示画面におけるウィンドの入力を促す表示に基づいて入力操作により設定される。そして、この設定入力された購入先の数は、購入条件情報として購入条件情報データベース91に出力されて格納される。

【0045】安全購入先決定手段37は、購入側端末コンピュータ6の購入側入力装置の入力操作により、購入先決定手段36で設定される購入先の数より少ない数、すなわち購入先の数内で見込額の高い数の数を設定する。具体的には、購入先の数が5社とした場合、「9」と設定されることにより、上位5社が安全圏内である旨の安全購入先の数となる。そして、この安全購入先の数も、ウェブブラウザによる表示画面のウィンドにおける入力を促す表示に基づいて設定され、購入条件情報データベース91に出力されて格納される。

【0046】入札可能条件設定手段38は、後述する見込情報取得手段26が見込情報を取得可能とする見込額入力値を設定する。すなわち、公開見積り枠組で入札資格として、後述するID/パスワード作成手段23によりID/パスワードおよびパスワードを作成して見込額入力欄に付与する見込額入力値を設定する。そして、この設定した入札可能条件は、購入条件情報データベース91に出力されて格納される。

【0047】購入条件設定手段41は、その他、見込額の入札の締め切り日である公開締切日、見込額入力欄に開示する入札状況を開示する入札状況開示条件など、各種購入条件の項目を設定し、購入条件情報を保持して購入条件情報データベース91に出力されて格納させる。

【0048】入札情報取得手段22は、入札側端末コンピュータ4の入札側入力装置の入力操作により、見込額を入力する見込額入力欄に関する入札情報を設定する。すなわち、入札情報取得手段22は、入札表示装置4bに表示されるウェブブラウザによる表示画面で示される情報を入力するための入札情報入力ウィンドにおいて、このウィンドの入力を促す表示に基づいて入力操作された内容をネットワーク2を介して送受信される入札情報として取得する。この入札情報としては、例えば見込額入力欄の名称、住所、連絡先、開業物品の提供計画(生産・製造など)に関する情報など、見込額入力欄に関する固有の情報である。そして、設定入力された入札情報は、購入側端末コンピュータ6にネットワーク2を介して出力されるとともに、入札情報情報として記憶部12の入札情報データベース92に出力されて格納される。

【0049】ID/パスワード作成手段23は、入札情報取得手段22で取得した入力情報に基づいて、購入側端末コンピュータ6の購入側入力装置による認証する旨の入力操作、すなわち入札可能条件設定手段38にて公開見積りの入札資格を付与する旨の設定により、見込額入力欄に対応した画面のID/パスワードおよびパスワード

を作成する。そして、I/Oパスワード作成手段23は、これらI/Oパスワードおよびパスワードを入力情報と関連付けして入力情報と、入力情報データベース32に出力して格納する。

【0044】I/Oパスワード照会手段24は、入力情報データベース4の入力入力装置の入力操作により入力されたI/Oパスワードおよびパスワードを取得し、入力情報データベース32に格納された入力情報と照合し、正誤が適否を判断する。

【0045】物品情報照会手段25は、購入条件情報データベース31に格納された物品情報を含む購入条件情報を入力情報データベース4にネットワーク2を介して出力させる。なお、この購入条件情報は、I/Oパスワード照会手段によってI/Oパスワードが正誤であることが判別した場合に出力させる。

【0046】見込情報取得手段26は、入力情報データベース4の入力入力装置の入力操作により、見込情報に関する見込情報を設定する。すなわち、見込情報取得手段26は、ウェブブラウザによる表示画面で示される情報を設定入力するための見込情報入力ウィンドにおいて、このウィンドの入力を促す表示に基づいて入力操作された内容をネットワーク2を介して送信される見込情報として取得する。そして、設定入力された見込情報は、記憶部12の順位情報データベース33に格納される。なお、この見込情報取得手段26は、I/Oパスワード照会手段24にてI/Oパスワードおよびパスワードが正誤であることを判断した場合に見込情報を取得可能となる。すなわち、正誤であるか判断した場合のみ、入力情報データベース4が見込情報入力ウィンドにアクセス可能となり、見込情報を設定入力可能となる。

【0047】順位作成手段27は、見込情報取得手段26にて取得した見込情報に基づいて、見込情報側の見込情報の順位に関する順位情報を作成する。この順位情報は、見込情報側の提示された見込情報と比較し、見込情報が小さい見込情報側の順位である。すなわち、順位作成手段27は、I/Oパスワードおよびパスワードに基づいて入力情報データベース32に格納された入力情報と取得した見込情報とを照合し、順位情報を作成する。そして、この作成された順位情報は、記憶部の順位情報データベース33に出力されて格納される。

【0048】また、順位作成手段27は、順位情報に基づいて、適宜グラフを作成する。グラフは、後述するように、例えば横軸を日付、縦軸を順位や見込値として見込情報側の日付による順位や見込値が変化する状況を示すものである。

【0049】順位照会手段28は、入力情報データベース4の入力入力装置の入力操作による、順位情報データベース33に格納された順位情報を、入力情報データベース4に出力する。なお、この順位情報の照会には、I/Oパスワード照会手段24にて

I/Oパスワードおよびパスワードが正誤であることを判断し、アクセスするI/Oパスワードおよびパスワードに対応する見込情報側の自分の順位のみ照会させる。

【0050】案内作成手段29は、購入情報データベース3の購入入力装置の入力操作により、見込情報側の通知に関する案内を作成する。この通知に関する案内は、入力された見込情報に基づき順位に対応した入力した見込情報より小さい見込情報の見込情報を購入力するように促す案内で、後述するように、例えば順番に対応した2つの案内で作成される。そして、作成された案内は、案内情報データベース34に出力されて格納される。

【0051】ここで、案内の具体例として、本実施の形態では、以下のように例示する。メッセージ1としては、全顧客に案内見込情報の見込情報入力側から、安全購入先の案内に対応する順番の見込情報入力側までに通知する案内で、「案内であるが優先度ではない」旨である。メッセージ2としては、購入先の案内に対応する順番の見込情報より高い見込情報の見込情報入力側に通知する案内で、「案内であり、現状では取りできない可能性が高い」旨である。なお、見込情報が最も安い見込情報入力側に通知するメッセージはない。

【0052】案内通知手段30は、案内情報データベース34に格納された案内を見込情報入力側に通知する。この通知は、順位照会手段28にて順位情報を照会する際、に通知される。なお、順位情報とは別に、案内のみを通知する構成としてもよい。

【0053】記憶部12の入力条件情報データベース31は、購入条件決定手段21にて決定された物品情報を含む購入条件の各項目を1つのレコードとして記憶するテーブル構造のデータベースとして構成される。

【0054】入力情報データベース32は、入力情報取得手段22にて取得した入力情報、すなわち、入力情報データベース4で入力された見込情報入力側に開する情報の情報の各項目を1つのレコードとして記憶するテーブル構造のデータベースとして構成される。なお、このテーブル構造には、各見込情報入力側に対して作成されたI/Oパスワードおよびパスワードが関連付けられて1つのレコードとして記憶される。

【0055】順位情報データベース33は、見込情報取得手段26で取得した見込情報と、順位作成手段27にて見込情報に入力情報情報が関連付けされて順位を決定して作成された順位情報とを置き換え可能に記憶する。また、順位情報データベース33は、グラフに関する情報も記憶する。

【0056】案内情報データベース34は、案内作成手段29にて作成された案内を書き換え可能に記憶する。

【0057】そして、記憶部12に記憶された情報は、購入情報データベース3の購入入力装置の開する案内照会装置の入力操作により、適宜購入情報データベース3にネットワーク2を介して送信可能となっている。

【00058】《公開見解システム》の動作に、上記一実施形態の形態の公開見解システム1の動作について図面を参照して説明する。

【00059】《見解情報入力欄の入力装役の付与》まず、公開見解システム1における見解情報入力欄に入力装役を付与する動作について図面を参照して説明する。図9は、購入側のホームページのホームの画面表示を示す説明図である。図4は、調達情報のタグウィンドの画面表示を示す説明図である。図5は、購入条件を設定入力する調達情報ウィンドの画面表示を示す説明図である。図6は、公募リストのウィンドの画面表示を示す説明図である。図7は、公募品詳細ウィンドの画面表示を示す説明図である。図8は、入力情報を入力する公募シートウィンドの画面表示を示す説明図である。図9は、見解情報入力欄に入力装役を付与する動作を示すフローチャートである。図10は、入力情報ウィンド47の画面表示を示す説明図である。

【00060】購入物品の購入のために公開見解を実施する購入者は、購入情報系コンピュータ3を用いて、公開見解を実施する旨を指示する。具体的には、図9に示すように、ウェブブラウザ(Web browser)による表示画面で示されるホームページ41に指示される。このホームページ41は、図9に示すように、購入者の情報を開示するホームページ、製品情報、技術情報、調達情報、技術情報、会社情報、問い合わせ、サイトマップなどの情報のページ41aを含む。図10に示すように、公開見解を実施する旨の案内は、図4に示すような調達情報のタグウィンド42に開示される。さらに、購入者は、追加に購入先として取り引きした取引先に公開見解を実施する旨の案内をメールにより配信する設定をする。

【00061】すなわち、調達情報は、例えば図9に示す購入条件を設定入力するウィンドである調達情報ウィンド43に基づいて設定される。具体的には、購入情報系コンピュータ3の購入側入力装役の入力操作により、図9に示すような調達情報ウィンド43が購入側表示装置9bに表示される。そして、この調達情報ウィンド43に設けられた購入条件の各項目の入力を促す複数のテキストボックス43aに入力することにより購入条件が設定され、設定された購入条件情報の一部が調達情報としてタグウィンド42に開示される。

【00062】さらに、調達情報ウィンド43には、公開見解を実施する案内を準備する取引先(図に入力装役を有した見解情報入力欄)や過去に取引のある取引先など)を入力するテキストボックス43bが設けられている。すなわち、このテキストボックス43bに設定入力される見解情報入力欄が、公開見解の入力装役があるものとして入力可能条件設定手段8の制御によって決定する。また、調達情報ウィンド43には、テキストボックス43bに入力された取引先に公開見解を実施する旨の案内として

メール配信するためのコマンドボタン43cが設けられている。そして、これら設定入力された購入条件情報は、購入条件情報データベース31に出力されて格納される。

【00063】そして、購入側のホームページ41およびメールを開覧した見解情報入力欄は、調達情報タグウィンド43に設けられたハイパーリンク42aから、図6に示す公募リストのウィンド43により、購入者の購入対象の購入物品および公開見解を実施する期間である公募期間の情報を確認する。この公募リストのウィンド43に開示される情報は、上記図9に示す調達情報ウィンド43にて入力された購入条件情報の一部である。なお、この公募リストのウィンド43には、例えば各購入物品毎の詳細な内容、すなわち購入条件情報が盛り込まれた図7に示す公募品詳細ウィンド45に対応した複数のハイパーリンク44aが設けられている。

【00064】さらに、見解情報入力欄は、図9に示す公募リストのウィンド43から入力希望する購入物品に対応したハイパーリンク43aから図7に示す公募品詳細ウィンド45により購入者の購入条件を確認する。そして、見解情報入力欄は、入力装役を取得するために、公募品詳細ウィンド45に設けられた応募シートにリンクするコマンドボタン45aを操作し、図8に示す入力情報検索を入力するウィンドである応募シートウィンド46を、購入側表示装置9bに表示させる。すなわち、図8に示す応募シートウィンド46は、入力情報検索の項目の入力を促す複数のテキストボックス46aが設けられている。

【00065】そして、見解情報入力欄は、図8に示す応募シートウィンド46のテキストボックス46aに入力した入力情報検索を入力して送信し、図9のフローチャートに示すように応募する(ステップ81)。この送信された入力情報検索は、ネットワークを介してサーバ装置5の入力情報検索取得手段82にて取得され、購入情報系コンピュータ3に配信されるとともに、入力情報検索データベース92に出力されて格納される。この購入情報系コンピュータ3は、配信された入力情報検索として、購入側表示装置9bにより図10に示すような入力情報検索ウィンド47の画面表示にて開示される。なお、入力情報検索データベース92は、この図10に示すようなデータ構造で入力情報検索を格納する。

【00066】この購入情報系コンピュータ3に配信された入力情報検索を取得した購入者は、入力情報を確認し(ステップ82)、購入先として条件を満たしていないと判断した場合には、購入側入力装置の入力操作により、例えば今回は購入先の対象となり得ない旨の案内を通知する設定をする(ステップ83)。また、ステップ82において、購入先の対象となり得る旨の案内を通知した場合には、入力情報検索のより詳細な内容を取得するために、図10に示すような案内をメール配信する設定をする(ステップ84)。なお、ステップ83の終了の案内や

【0077】このコマンドボタン24cの入力操作により、サーバ装置5のID/パスワード照合手段24は、既に入力側情報データベース32に格納された入力側情報と照合し、正しくIDナンバおよびパスワードが入力された正風の入力照合を有する見做し入力側が否かを判断する。そして、IDナンバおよびパスワードの正しい入力確認められた場合には、公開サーバへのログインを

拒絶する。また、正確の見積額入力側であると判別した場合には、公開見積へのログインを許可する。

【0077】として、見積額入力側の公開見積へのログインにより、図11に示す公開見積ウィンド49が入れ側側面コンピュータ4の入れ側表示装置4bに表示される。この公開見積ウィンド49は、見積額入力側が入力操作により見積額を指定入力するための入力ウィンドで、図11に示す関連情報ウィンド43で入力された購入条件情報の一部が開示されているとともに、入力の有無を指定するチェックボックス49aや見積額を入力するテキストボックス49bが設けられている。さらに、公開見積ウィンド49には、入力した見積情報を確認するためのコマンドボタン49cが設けられている。なお、このコマンドボタン49cにリンクする入力した見積情報を確認するためのウィンドには、見積情報を消去するコマンドボタンが設けられている。

【0078】この公開見積ウィンド49で入力した見積情報を送信すると、サーバ装置5の見積情報取得手段5cで取得し、この取得した見積情報は順位情報データベース33へ出力されて格納される。なお、購入側側面コンピュータの購入側入力装置による見積情報の確認要求の入力操作により、順位情報データベース33に格納された見積情報は購入側表示装置3bに表示可能である。

【0080】さらに、サーバ装置5の順位作成手段27は、見積情報取得手段26で取得した見積情報から、1人当たりに基づいて入力側順位データベース32に格納されている入力側情報と照合して見積額入力側の照合の情報を、例えば名称情報と見積額とを関連付けし、取得した見積額を比較して見積額入力側の見積額の順位を算出し、順位情報を作成する。なお、この作成された順位情報は、順位情報データベース33へ出力されて格納される。また、順位作成手段27は、あらかじめ購入側が設定した順位開示の条件に基づいて、グラフを作成する。

【0081】すなわち、購入側は、購入条件情報として、あらかじめ図11に示す関連情報ウィンド49に購入条件を設定するとともに、図12に示すウェブブラウザによる表示画面である順位開示条件情報などの入力状況開示条件を入力するウィンドとしての見積額入力リストウィンド49に基づいて、指定入力する。すなわち、図12に示す見積額入力リストウィンド49は、関連情報ウィンド43で入力された公開見積欄に入力状況開示条件を入力設定可能となっている。

【0082】具体的には、見積額入力リストウィンド49には、入力側側面コンピュータ4からの開示要求により、入力された見積額情報に対する最新の順位開示条件情報を設定するチェックボックス49a、見積額の順位に関するやグラフを表示し49bが設けられた順位開示条件情報を設定するチェックボックス49b、順位に基づきメッ

セージを案内通知手段30により表示される条件を設定、すなわち購入先指定手段36で設定する購入先の業を入力するテキストボックス49cや資金集積先指定手段37で設定する購入先の業を入力する図11にないテキストボックス、公開見積の入力を行なう欄を入力するテキストボックス49dなど、入力状況開示条件を設定する項目が複数設けられている。なお、この見積額入力リストウィンド49には、図12に示す公開見積欄の詳細な情報を確認するために関連情報ウィンド43を開くためのハイパーリンク49eが設けられている。そして、入力設定された入力状況開示条件情報は、購入条件情報データベース31に格納される。

【0083】このようにして、図12に示す見積額入力リストウィンド49に基いて入力設定された入力状況開示条件により、順位作成手段27がグラフを作成し、順位情報データベース33に格納させる。そして、見積額を入力した見積額入力側は、入力情報側コンピュータ4の入力側入力装置の入力操作により、入力状況の開示要求をサーバ装置5が認識すると、順位開示手段28が購入条件情報データベース31に格納された入力状況開示条件情報に基づいて、順位情報データベース33に格納された順位情報の一部を入力側側面コンピュータ4へ出力し、入力側表示装置4bに表示させる処理である。

【0084】この入力側表示装置4bに表示される順位情報としては、例えば図13(A)に示すウェブブラウザによる表示画面で示される最新入力状況ウィンド50、図14(B)に示すウェブブラウザによる表示画面で示される入力側順位リストウィンド51b、および、図15(B)に示すウェブブラウザによる表示画面で示される入力側順位グラフウィンド52bなどである。

【0085】図13(A)に示す最新入力状況ウィンド50は、例えば図12に示す見積額入力リストウィンドに設けられた「オン」のチェックボックス49dがチェックされて指定されることにより表示される。そして、この最新入力状況ウィンド50には、案内通知手段30で通知するメッセージを表示するボックス50aが設けられている。

【0086】すなわち、サーバ装置5は、入力側側面コンピュータ4からの最新入力状況ウィンド50の開示要求あるいは購入側側面コンピュータ4からの通知要求が合った場合、案内作成手段29により順位情報の見積額入力側の順位を認識して対応する案内として、例えば図13(B)に示す案内情報データベース34に格納された案内を選択する。そして、この選択した案内を、順位開示手段30にて最新入力状況ウィンド50を開示させる際に、案内通知手段30により最新入力状況ウィンド50内に設けられて通知される処理である。なお、この図13(A)は、メッセージ2が表示された例である。

【0087】また、図14(B)に示す入力側順位リストウィンド51bは、例えば図12に示す見積額入力リス

ウィンドに設けられた「オン」のチェックボックスがチェックされて設定されることにより入札結果表示コンピュータ4に出力されて開示される。この図14(B)に示す入札順位リストウィンド511は、開示済であった見積納入札の順位のみが記載できるように開示された例である。すなわち、順位開示手段59は、開示済である見積納入札の1オナパに基づいて見積納入札の順位を判断し、その見積納入札の名称のみが明らかとなった状態で開示され、他の見積納入札がいずれの企業であるかが分からないように開示する。なお、購入価格表示コンピュータ3からの開示要求が合った場合には、図14(A)に示す入札順位リストウィンド510のように、すべての見積納入札の順位が明らかとなるように開示される。さらに、図14(A)に示すように、全ての見積納入札の入札された最新の見積額が表示されるようにしてもよい。

【0099】さらに、図15(B)に示す入札順位グラフィックウィンド520は、例えば図12に示す見積納入リストウィンドに設けられた開示しないグラフを開示するための「オン」のチェックボックスがチェックされて設定されることにより開示される。この図15(B)に示す入札順位グラフィックウィンド520は、図14に示す入札順位リストウィンド510、511の場合と同様に、開示要求があった見積納入札の順位のみが記載できるように開示された例である。なお、購入価格表示コンピュータ3からの開示要求が合った場合には、同様に図15(A)に示す入札順位グラフィックウィンド520のように、すべての見積納入札の順位が明らかとなるように開示される。さらに、図15(A)に示すように、縦軸に見積額が表示されるようにしてもよい。

【0099】このようにして、入札結果表示コンピュータ4からの開示要求により、入札状況の一部の情報を画面上に開示され、入札された見積額に対応した順位に応じて、案内が通知される。そして、公衆鍵切から所定時間、例えば図12に示すテキストボックス430に設定入力された公開見積の入札打ち切る時刻に到達した場合が否かをサーバ装置5が判断する。この入札切替時刻に到達したことをサーバ装置5が判断すると、サーバ装置5は公開見積の見積額を入力する図11に示す公開見積ウィンド48が入札切替時刻コンピュータ4で開けないように制御し、入札打ち切る。

【0099】そして、公衆鍵切により最終的に見積額が小さい順から購入先の数に対応した順位までの見積納入札を納入先として、例えば「次は〇〇に入札します。」などのような購入先として決定した旨のメールを配信したり、購入先として選ばれなかった場合にはその旨のメールを配信するなどの設定をし、決定した購入先のための手続を進める。

【0099】「公開見積システムの効果」このように、上記一実施形態では、物品情報開示手段25により購入

物品に関する物品情報を含む購入条件情報を開示し、見積額取得手段25にて見積額を提示する見積納入札から入力される見積額に関する見積情報を取得し、順位作成手段にて取得した見積情報の見積額を並び立て見積額が小さい順となる見積納入札の順位に関する順位情報を作成する。そして、購入先決定手段30にて見積額が最も小さい順から見積納入札の順位を納入先とするために購入者が購入先の数を設定し、この設定した購入先の数に対応する順位の見積額より高い見積額の順番となる見積納入札に対して、案内通知手段30により見積額の小さい見積情報の再入力を促す案内であるメッセージ2を通知する。

【0099】このため、見積納入札は、最も安い見積額を知り得ることなく、さらに小さい見積額の見積情報の再入力を促す案内のみが順に通知され、どの程度小さい見積額に設定すればよいが判断できない。このことにより、見積納入札としては可能な限り安い見積額の見積情報を再入力することとなり、最終的な見積額の見積額を低減することができる。

【0099】さらに、案内通知手段30により、購入先決定手段30にて設定される購入先の数に対応する順位の見積額より小さく、かつ、購入先決定手段30にて設定される購入先の数より少ない数に設定する安全購入先決定手段37にて設定される購入先の数に対応する順位の見積額より高い見積額の順番となる見積納入札に対して、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内であるメッセージ1を通知する。このため、購入先の数に対応する順位の見積額よりも小さく、購入先の対象外となり得る見積納入札でも、メッセージ1の通知により今後の入札状況に応じて購入先の対象外となるおそれがあると判断することとなり、入札される見積額のさらなる低減を図ることができる。

【0099】そして、順位開示手段28により、順位作成手段27にて作成した順位情報を開示することができる。このため、見積納入札は自己の見積額の開示を認識でき、特に購入先の数の境界近傍の順位の見積納入札から、さらに見積額が低い見積情報の再入力の必要性を判断でき、より見積額の低減を図ることができる。

【0099】また、順位開示手段29は、見積納入札の由名や自己の順位のみを開示する。このため、他の見積納入札が不明で、開示される入札状況の情報が少ないので、再入力される見積情報の見積額として、見積納入札が可能な限り安い見積額を開示する傾向が強く、より見積額の低減を図ることができる。

【0099】そして、入札情報取得手段22にて見積納入札の購買物品の提供能力に関する情報を取得せし、この取得した入札情報に基づいて取引として適切が否かを判断し、適切な取引先の対象となり得る見積納入札からの見積情報のみを見積額取得手段25にて取得するようにする。このため、例えば見積額が低く

でも購買物品の提供能力がない購入先から購入物品を購入することにより購入物品の確保ができなくなるなどの不都合を防止でき、安定した品質の購入物品を安定して確保することができる。

【0097】また、入力可能条件設定手段②にて設定される見込購入札割に対しての購入入力資格があるものとして物品情報指示手段②にて物品情報を開示する。このため、例えば入力側情報取得手段②にて取得した見込購入札割の購買物品の提供能力に関する情報などの入力情報に基づいて、良好な購入物品を安定して安価に確保するための購入先の対象となり得る見込購入札割のみが購入資格を有するものとして設定されることとなり、安定した取引が容易に得られる。

【0098】そして、ネットワーク②を介して見込購入札割の入力側端末コンピュータ④をサーバ装置①に送受信可能に接続して公開見込システム①を構築して公開見込を実施する構成とする。このため、ネットワーク②の利用により、より安い見込価格の取得が容易で、利便性が向上し、利用の拡大が容易に図れる。さらに、ネットワーク②を介して購入側の購入側端末コンピュータ④をサーバ装置①に送受信可能に接続して公開見込システム①を構築することで、購入側で購入条件情報や入力情報などのデータ管理の大きいものもサーバ装置①に蓄積され、購入側端末コンピュータ④の負荷を軽減できるとともに、購入側が複数の公開見込を実施することも可能で、利用のさらなる拡大が容易に図れる。

【0099】(実施形態の状況)なお、本発明は、上述した一実施の形態に限定されるものではなく、本発明の目的を達成できる範囲で以下に示される変形をも含むものである。

【0100】例えば、ネットワーク②を介して購入側端末コンピュータ④、入力側端末コンピュータ④およびサーバ装置①を接続して説明したが、購入側端末コンピュータ④にサーバ装置①の構成を設け、ネットワーク②を介して購入側端末コンピュータ④と入力側端末コンピュータ④とを接続して送受信させる構成としてもよい。さらに、ウェブブラウザを用いてインターネットにより情報を送受信して説明したが、インターネットを用いず、有線や無線にて情報を送受信させてもよい。

【0101】また、サーバ装置①に管理構成②1〜②3を設けて説明したが、購入側端末コンピュータ④や入力側端末コンピュータ④にそれぞれそれぞれ構築させるプログラムとして作用させてもよい。

【0102】そして、安価購入先検索手段③7を設けて説明したが、単に入力先検索手段③6のみを設けて、メッセージ②のみ通知する構成としてもよい。

【0103】また、順位を開示して説明したが、上述したように順位を開示せずに単にメッセージのみを通知する構成としてもよい。

【0104】さらに、入力資格を判断して説明したが、

入力資格を行なう構成を省き、全ての見込購入札割が入力可能としてもよい。すなわち、入力側情報取得手段②や入力可能条件設定手段③8を設けなくてもよい。

【0105】そして、見込購入札割が見込価格を再入力できる回数について、上限を設けずに説明したが、例えば再入力できる回数を購入条件情報として購入側端末コンピュータ④で設定できる構成としてもよい。例えば、図12に示す見込入力リストに、再入力できる回数を設定するテキストボックスなどを設け、見込価格取得手段で見込価格を取得した際に、その回数をカウントし、設定入力された回数を上回らなければ見込価格を取得できるようにするなどとしてもよい。なお、この場合、入力回数を見込購入札割で確認できるようにしてもよい。

【0106】すなわち、複数の見込価格の再入力により、開示される購入入力状況に基づいて、最新の最低見込価格が見込購入札割で評価できる可能性がある。このことから、再入力できる上限回数を設定することにより、最低見込価格が値に判断できたとしても他の見込購入札割がさらに小さい見込価格を再入力する可能性があることから、再入力される見込価格をさらに超過する危険が期待できる。

【0107】また、見込購入札割の開示要求により入力順位リストやグラフを開示する構成について説明したが、これらを開示せず、図13に示す最新入力状況ウィンドのみを開示させる構成、さらに、図13に設けられたボックス内に表示される案内のみを通知する構成とすることもできる。

【0108】その他、本発明の実施の形態の目的を達成および手段は、本発明の目的を達成できる範囲で他の構成に変更するなどとしてもよい。

【0109】

【発明の効果】本発明によれば、購入物品に関する物品情報を開示して見込購入札割から入力される見込価格に関する見込価格を取得し、見込価格が最も小さい購入側から見込購入札割を再入力先とする購入先の数に対応する順番の見込価格より高い見込価格の順番となる見込購入札割に対して、より小さい見込価格の再入力力を提供可能な限り安い見込価格の見込価格を再入力することとなり、最終的な購入時の見込価格の低減を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態に係る公開見込システムの全体の構成を示すブロック図である。

【図2】同一実施の形態における公開見込システムを構成するサーバ装置の構成を示すブロック図である。

【図3】同一実施の形態における購入側のホームページのホームの画面表示を示す説明図である。

【図4】同一実施の形態における画面上部のタグウィ

ソドの画面表示を示す説明図である。

【図5】 同上—実施の形態における購入条件を設定入力する調達情報ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図6】 同上—実施の形態における公募リストのウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図7】 同上—実施の形態における公募品詳細ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図8】 同上—実施の形態における入札情報を入力する公募シートウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図9】 同上—実施の形態における見積入れ札側に入札資格を付与する動作を示すフローチャートである。

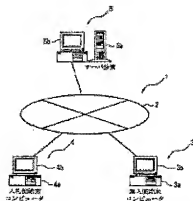
【図10】 同上—実施の形態における入札情報ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図11】 同上—実施の形態における公開見積リストウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図12】 同上—実施の形態における見積入れ札リストウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図13】 同上—実施の形態における新着入札状況ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図1】



【図14】 同上—実施の形態における入札順位リストウィンドの画面表示を示す説明図である。

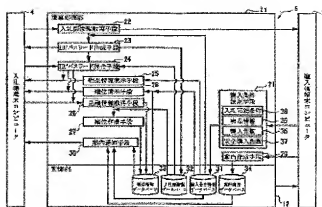
【図15】 同上—実施の形態における入札順位グラフウィンドの画面表示を示す説明図である。

【符号の説明】

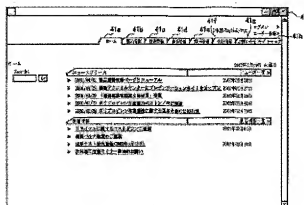
- 1 公開見積装置としても機能する公開見積システム
- 2 ネットワーク
- 3 端末装置としての購入側端末コンピュータ
- 4 端末装置としての入札側端末コンピュータ
- 5 公開見積装置としてのサーバ装置
- 22 入札条件取得手段
- 23 物品情報取得手段
- 24 見積情報取得手段
- 25 順位取得手段
- 26 順位表示手段
- 27 案内表示手段
- 28 優先順位取得手段
- 29 安全購入先決定手段
- 30 入札可能条件設定手段

【図4】

【図2】

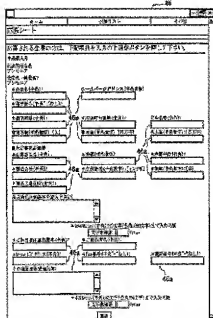


【図3】



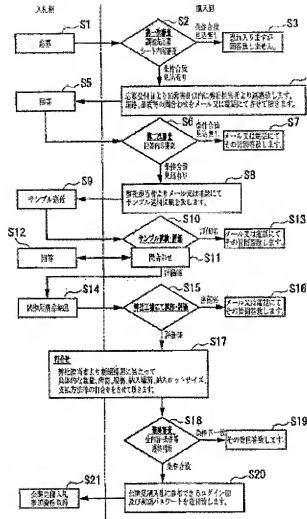
【図 7】

【図 8】



【図 9】

【図9】



【図 1 0】

The screenshot shows a software window with a title bar containing the text '図 1 0'. The window contains a complex form with multiple tabs and fields. The tabs are labeled '図 1 0', '図 1 1', '図 1 2', '図 1 3', '図 1 4', '図 1 5', '図 1 6', '図 1 7', '図 1 8', '図 1 9', '図 1 10', '図 1 11', '図 1 12', '図 1 13', '図 1 14', '図 1 15', '図 1 16', '図 1 17', '図 1 18', '図 1 19', '図 1 20', '図 1 21', '図 1 22', '図 1 23', '図 1 24', '図 1 25', '図 1 26', '図 1 27', '図 1 28', '図 1 29', '図 1 30', '図 1 31', '図 1 32', '図 1 33', '図 1 34', '図 1 35', '図 1 36', '図 1 37', '図 1 38', '図 1 39', '図 1 40', '図 1 41', '図 1 42', '図 1 43', '図 1 44', '図 1 45', '図 1 46', '図 1 47', '図 1 48', '図 1 49', '図 1 50', '図 1 51', '図 1 52', '図 1 53', '図 1 54', '図 1 55', '図 1 56', '図 1 57', '図 1 58', '図 1 59', '図 1 60', '図 1 61', '図 1 62', '図 1 63', '図 1 64', '図 1 65', '図 1 66', '図 1 67', '図 1 68', '図 1 69', '図 1 70', '図 1 71', '図 1 72', '図 1 73', '図 1 74', '図 1 75', '図 1 76', '図 1 77', '図 1 78', '図 1 79', '図 1 80', '図 1 81', '図 1 82', '図 1 83', '図 1 84', '図 1 85', '図 1 86', '図 1 87', '図 1 88', '図 1 89', '図 1 90', '図 1 91', '図 1 92', '図 1 93', '図 1 94', '図 1 95', '図 1 96', '図 1 97', '図 1 98', '図 1 99', '図 1 100'. The form contains various input fields, checkboxes, and buttons, organized into a structured layout.

【図 1 1】

The screenshot shows a software window with a title bar containing the text '図 1 1'. The window contains a data entry form with a table and various input fields. The table has columns labeled '図 1 1', '図 1 2', '図 1 3', '図 1 4', '図 1 5', '図 1 6', '図 1 7', '図 1 8', '図 1 9', '図 1 10', '図 1 11', '図 1 12', '図 1 13', '図 1 14', '図 1 15', '図 1 16', '図 1 17', '図 1 18', '図 1 19', '図 1 20', '図 1 21', '図 1 22', '図 1 23', '図 1 24', '図 1 25', '図 1 26', '図 1 27', '図 1 28', '図 1 29', '図 1 30', '図 1 31', '図 1 32', '図 1 33', '図 1 34', '図 1 35', '図 1 36', '図 1 37', '図 1 38', '図 1 39', '図 1 40', '図 1 41', '図 1 42', '図 1 43', '図 1 44', '図 1 45', '図 1 46', '図 1 47', '図 1 48', '図 1 49', '図 1 50', '図 1 51', '図 1 52', '図 1 53', '図 1 54', '図 1 55', '図 1 56', '図 1 57', '図 1 58', '図 1 59', '図 1 60', '図 1 61', '図 1 62', '図 1 63', '図 1 64', '図 1 65', '図 1 66', '図 1 67', '図 1 68', '図 1 69', '図 1 70', '図 1 71', '図 1 72', '図 1 73', '図 1 74', '図 1 75', '図 1 76', '図 1 77', '図 1 78', '図 1 79', '図 1 80', '図 1 81', '図 1 82', '図 1 83', '図 1 84', '図 1 85', '図 1 86', '図 1 87', '図 1 88', '図 1 89', '図 1 90', '図 1 91', '図 1 92', '図 1 93', '図 1 94', '図 1 95', '図 1 96', '図 1 97', '図 1 98', '図 1 99', '図 1 100'. The form includes a table with data, input fields, and buttons, all arranged in a structured manner.

【表 1-2】

労働入力リスト

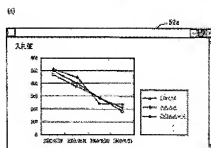
作業区	作業名	作業内容	作業時間	作業人数	作業単価	作業総額	作業区分
1	作業区1	作業内容1	100	10	1000	10000	1
2	作業区2	作業内容2	200	20	2000	20000	2
3	作業区3	作業内容3	300	30	3000	30000	3
4	作業区4	作業内容4	400	40	4000	40000	4
5	作業区5	作業内容5	500	50	5000	50000	5
6	作業区6	作業内容6	600	60	6000	60000	6
7	作業区7	作業内容7	700	70	7000	70000	7
8	作業区8	作業内容8	800	80	8000	80000	8
9	作業区9	作業内容9	900	90	9000	90000	9
10	作業区10	作業内容10	1000	100	10000	100000	10

【図 1-4】

【図 1-5】

入力履歴

区画	区画名	作業区	作業名
1	区画1	1	作業区1
2	区画2	2	作業区2
3	区画3	3	作業区3
4	区画4	4	作業区4
5	区画5	5	作業区5



入力履歴

区画	区画名	作業区	作業名
1	区画1	1	作業区1
2	区画2	2	作業区2
3	区画3	3	作業区3
4	区画4	4	作業区4
5	区画5	5	作業区5

